

令和3年度九州中学校サッカー競技大会 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

本ガイドラインは「九州中学校体育大会新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準じて作成しています。大会に関わる全ての方に、両ガイドラインの遵守をお願いします。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、随時見直すことがあり得ることにご留意ください。

1 競技運営について

(1) 開閉会式

①開閉会式は感染拡大予防のため中止とする。

※表彰については、表彰式を実施する場合は、以下の点に注意して対応する。感染対策により実施しないことも検討する。

ア 優勝旗は表彰プレゼンターとチームを代表した選手が、距離(2m以上)を置いて立ち、授与のみ行う。

イ 賞状は表彰プレゼンターとチームを代表した選手が、距離(2m以上)を置いて立ち、読み上げをせずに、授与のみ行う。

ウ メダル掛けは行わない。(セレモニーとは別に一括してチームへ渡す。)

エ 表彰プレゼンター、運営スタッフは、マスクを着用する。

オ 握手は行わない。

(2) 感染拡大予防対策

『令和3年度九州中学校体育大会 第52回九州中学校サッカー競技大会 新型コロナウイルス感染防止対策』を参照すること。

2 参加校について(引率・監督・コーチ・選手・登録外の3年生・競技役員・審判員等)

(1)九州中学校体育大会「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準じ、下記の記録等を保管・提出する。

①「体調記録表」(別紙1)を大会2週間前より記録する。(参加校で1ヶ月間保管)

②「学校同行者大会当日体調記録表」(別紙2)を大会当日、受付に提出する。(実行委員会で1ヶ月保管)

③「来場者体調記録表」(別紙3)を競技役員・審判員等は大会当日、受付に提出する。(実行委員会で1ヶ月間保管)

④「行動履歴書(別紙4)」を大会2週間前より記録する。(個人で1ヶ月間保管)

※罹患が発生した場合は、別紙4の提出が必要となる場合がある。

⑤「参加同意書(別紙5)」を各学校でまとめる。(参加校で1ヶ月間保管)

※学校長は参加同意書の提出を受けて、参加申込書に押印をする。

(2)下記に該当する場合は大会に参加しないこととする。

①陽性または濃厚接触となった選手・職員については、保健所が指定する解除日まで。

②出席停止、学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖に該当する者で、濃厚接触者が特定されるまでの期間。

③大会当日の検温と風邪症状の確認において、発熱等の風邪症状(37.5℃以上の発熱や咳、呼吸困難、全身倦怠感、味覚障害、嗅覚障害等)がある場合。

※大会参加については「学校の新しい生活様式」「九州中学校体育大会新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」等を参考に、参加校の校長・引率者等による適正な判断をお願いする。

(3) 参加するに当たって

- ① マスク、消毒液等の感染予防対策に必要なものは、参加校にて準備をすること。
- ② 引率者等は、選手をはじめとしたチーム関係者に体調不良の有無を確認する声かけをこまめに行うなど、解散時まで選手の健康観察を徹底する。

3 応援者等について（保護者・応援生徒等）

(1) 九州中学校体育連盟「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準じ、原則登録選手1名につき応援者1名の応援を認める。ただし、下記の記録等を保管・提出する。

- ① 「体調記録表」（別紙1）を大会2週間前より記録する。（各自で1ヶ月間保管）
- ② 「行動履歴書」（別紙4）を大会2週間前より記録する。（各自で1ヶ月間保管）
※罹患が発生した場合は、別紙4の提出が必要となる場合があります。
- ③ 「応援者大会当日体調記録表」（別紙6）を大会当日、引率者等から受付に提出する。（実行委員会で1ヶ月保管）

(2) 大会開催中の応援に当たって

『令和3年度九州中学校体育大会 第52回九州中学校サッカー競技大会 新型コロナウイルス感染防止対策』を参照すること。

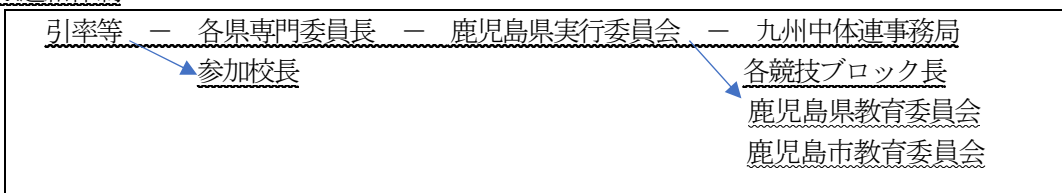
4 宿泊等について ※その他必要事項を開催県で記載

- (1) 宿泊をする場合は、各宿泊施設の新型コロナウイルスガイドラインを遵守する。
- (2) 大会期間中は原則、宿泊施設と大会会場の移動とし、不要不急の外出を避ける。
- (3) 学校長の判断で大会参加を取りやめた場合、ホテル・航空便のキャンセル代は学校負担とする。

5 感染者および感染が疑われる人が確認された場合の対応 ※詳細について開催県実行委員会で作成

- (1) 会場に救護係を配置する。
- (2) 周囲と隔離できる部屋を準備する。
- (3) 感染および感染が疑われる場合は、関係機関に連絡し、速やかに対応に当たる。

※連絡体制



※保健所の指示等に従い、対応する。

【受診・相談センター】 （受付時間）8時30分～17時15分
◇発熱等の症状がある方専用ダイヤル（鹿児島市保健所）：099-216-1517
◇新型コロナに関する一般相談ダイヤル（コロナ相談かごしま）：099-833-3221

6 その他

九州中学校体育連盟「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」と本ガイドラインに準じ、本大会運営を行う。そのため、大会へ参加する全ての方へ感染拡大予防対策に関する周知を事前に徹底する。

令和3年度 九州中学校体育大会 第52回九州中学校サッカー競技大会

新型コロナウイルス感染防止対策

以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる

- 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

1 事前準備

- (1) チーム内において感染対策責任者を定める。
- (2) 競技会・試合に参加する上での注意事項を選手・スタッフ全員が理解する。（不安がある場合は参加を見送る）
- (3) 参加チームは、別紙5 同意書を顧問・校長が確認し、各チームで保管する。
- (4) 参加チームは、2 週間前から前日にかけて別紙1 体調記録表、別紙4 行動履歴書を記入する。顧問は、別紙1 体調記録表をもとに日々、選手の体調を確認する。
- (5) 保護者が競技会の会場、日時、対戦相手を理解しており、参加を了承している。（了承しない場合は無理に参加させない。）
- (6) チーム用の手洗い用の石鹸・ハンドソープ、消毒を準備する。

2 往復の移動

- (1) マスクを着用する。ただし、十分に熱中症対策も考慮すること。
- (2) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。
- (3) 電車・バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話も控える。
- (4) 目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。
- (5) 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。

3 試合前

- (1) 選手・指導者・スタッフはマスクを着用する。ただし、十分に熱中症対策も考慮すること。

(2)別紙2 学校同行者体調記録表、別紙3 来場者体調記録表、別紙6 応援者大会当日体調記録表を大会本部に提出する。

(3)握手やハイタッチ等を行わない。

(4)ピッチ上で密集密接（手をつなぐ、肩を組む）となる円陣は行わない。尚、密集、密接にならずに社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）を保って円になって集まることは認められる。

(5)ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。

4 試合中

【試合関係者のコミュニケーション、給水等】

(1)ベンチに座る指導者・スタッフ、選手はマスクを着用する。ただし、十分に熱中症対策も考慮すること。

(2)プレー以外の不要な接触を避ける（得点後の喜び、交代時の握手等）。

(3)ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。

(4)ベンチでの選手間の距離を保つ。

(5)サブの選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。

(6)水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。（ドブ漬け禁止）

(7)ボトルを他の選手と共有しない。

(8)タオル等、リネンを他の選手と共有しない。

(9)うがいした水をピッチ内に吐かない。

(10)ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。

(11)飲水ボトルの共用を避けることから、十分な水分補給の機会が見込めないため、WBGT の数値を目安として、その時の状況で、飲水タイムやクーリングブレイクを設定し、パフォーマンス向上につなげる。 県専門部長から各会場へ通達する。

【ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応】

(1)ベンチに戻る前に消毒や手洗い、うがいをする。

(2)選手交代後においても消毒や手洗い、うがいをする。

(3)退席や退場の際等、審判員と会話をするがあったとしてもその距離には十分に配慮する。

(4)怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。

- (5)メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。
- (6)試合後のチーム、審判員との握手、相手チームベンチへの挨拶は行わない。
- (7)試合終了後、各チームでベンチの消毒を行なう。ベンチを拭き取るためのペーパータオル等についても準備しておく。

5 試合後

- (1)着替えを素早く済ませ、会場から早く出る。
- (2)試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分するか、持ち返る。特に弁当からは直接業者に手渡すこと。

6 帰宅後の過ごし方

- (1)手洗いうがいを徹底する。
- (2)バランスの良い食事をとる。
- (3)検温と共に行動記録を書く。
- (4)早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。

7 事後対応

- (1)帰宅後 14 日以内にチームの中から感染者が出た場合は大会運営責任者に速やかにその旨伝える。

8 その他

- (1)別紙 1 体調記録表、別紙 4 行動履歴書は大会が継続する場合および終了後 2 週間は継続して記入すること。
- (2)別紙 4 行動履歴書は、罹患者が発生した時に必要となる場合があるため、大会終了 1 ヶ月程度、各自で保管しておくこと。
- (3)参加するチームは試合時間に合わせて来場し、チームに関係する試合終了後、速やかに帰宅すること。
- (4)飲食時は他者と向き合いながら摂らず、かつ黙食を徹底すること。
- (5)応援者は登録選手 1 名につき、1 名までである。ID を身につけた応援者のみ会場に入場できる。応援者は指定された場所での応援しか行えない。その際、大声を出しての応援は控え、互いに間隔を広く保って応援すること。鳴り物は禁止である。また、会場内では自分の子どもが属しているチームの応援しか行えない。また、登録外の 3 年生の会場への入場を認める。
- (6)原則、本大会に関係する全ての新型コロナ感染拡大予防ガイドライン内容を加味して大会運営を行っていくが、室外競技の特性を踏まえ判断する場合がある。